

News Release

2020年2月27日
 独立行政法人製品評価技術基盤機構
 N I T E (ナ イ ト)
 東 北 支 所

5年で全国では157件、電子レンジで発生する事故 ～取扱説明書をよく読んで正しく使いましょう～ (東北版資料)

1. 事故の発生状況

東北地方6県(青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県)で2014年度から2018年度の5年間にNITE(ナイト)に通知のあった製品事故情報^{*1}では、電子レンジ、冷蔵庫、洗濯機、掃除機及び炊飯器の事故は20件^{*2}ありました。その中で、電子レンジの事故は5件ありました。

電子レンジの被害の状況は、拡大被害が2件、製品破損が3件です。

表1 電子レンジの事故の県別の年度別事故発生件数

発生年度	発生県						合計
	青森	岩手	宮城	秋田	山形	福島	
2014年度	0	0	1	0	0	1	2
2015年度	0	0	0	0	0	0	0
2016年度	0	0	0	0	0	0	3
2017年度	1	0	1	0	1	0	0
2018年度	0	0	0	0	0	0	0
合 計	1	0	2	0	1	1	5

表2 電子レンジの事故の県別の被害状況別事故発生件数

被害状況	発生県						合計
	青森	岩手	宮城	秋田	山形	福島	
死亡	0	0	0	0	0	0	0
重傷	0	0	0	0	0	0	0
軽傷	0	0	0	0	0	0	0
拡大被害	0	0	0	0	1	1	2
製品破損	1	0	2	0	0	0	3
被害なし	0	0	0	0	0	0	0
合 計	1	0	2	0	1	1	5

表3 電子レンジの事故の県別の事故原因区分別発生件数

原因区分		発生県						合計
		青森	岩手	宮城	秋田	山形	福島	
製品に起因する事故	A:設計、製造又は表示等に問題があったもの	0	0	0	0	1	0	1
	B:製品及び使い方に問題があったもの	0	0	0	0	0	0	0
	C:経年劣化によるもの	0	0	0	0	0	0	0
	G3:製品起因ではあるが、その原因が不明のもの	0	0	1	0	0	1	2
製品に起因しない事故	D:施工、修理、又は輸送等に問題があったもの	0	0	0	0	0	0	0
	E:誤使用や不注意によるもの	1	0	1	0	0	0	2
	F:その他製品に起因しないもの	0	0	0	0	0	0	0
G1、G2:原因不明のもの		0	0	0	0	0	0	0
H:調査中のもの		0	0	0	0	0	0	0
合 計		1	0	2	0	1	1	5

(※1) 消費生活用製品安全法に基づき報告された重大製品事故に加え、事故情報収集制度により収集された非重大製品事故やヒヤリハット情報（被害なし）を含む。

(※2) 重複、対象外情報を除いた事故発生件数。

【参考】

電子レンジ、冷蔵庫、洗濯機、掃除機及び炊飯器の事故の県別の年度別事故発生件数

発生年度		発生県						合計
		青森	岩手	宮城	秋田	山形	福島	
2014年度		1	0	1	1	1	1	5
2015年度		0	1	2	0	0	0	3
2016年度		1	0	1	0	0	1	3
2017年度		3	0	3	0	1	0	7
2018年度		0	1	0	0	0	1	2
合 計		5	2	7	1	2	3	20

電子レンジ、冷蔵庫、洗濯機、掃除機及び炊飯器の事故の県別の被害状況別事故発生件数

被害状況		発生県						合計
		青森	岩手	宮城	秋田	山形	福島	
死亡		0	0	0	0	0	0	0
重傷		0	0	0	0	0	0	0
軽傷		0	0	1	0	0	0	1
拡大被害		3	2	1	1	2	2	11
製品破損		2	0	5	0	0	1	8
被害なし		0	0	0	0	0	0	0
合 計		5	2	7	1	2	3	20

2. 電子レンジの主な事故事例

○2017年11月13日（青森県、年齢性別不明、使用期間約3年8ヶ月、製品破損）

事故内容:電気オープンレンジを使用中、庫内から発火した。

事故原因:庫内に食品カス等の汚れが付着した状態で、少量の食品の加熱調理を行っていたため、マイクロ波が食品カスに集中し、発火したものと推定される。

なお、取扱説明書には、「食品等で汚れたままにしない。電波が集中して火花の発生や発煙、発火の恐れがある。」旨、記載されている。

○2017年10月27日（山形県、年齢性別不明、使用期間不明、拡大被害）

事故内容:電子レンジを使用中、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。

事故原因:事故の原因は、当該製品のドアの開閉を検知するスイッチの製造不良により、接点部でスパークが発生し、火災に至ったものと考えられる。

なお、事業者は当該製品を含む対象機種について、平成15年9月2日から複数回、新聞社告を掲載するとともにテレビCM放送で注意喚起を行い、対象製品について、無償改修(スイッチ部の交換)を実施している。

○2017年10月21日（宮城県、年齢性別不明、使用期間不明、製品破損）

事故内容:電子レンジを使用中、当該製品を焼損する火災が発生した。

事故原因:当該製品のラッチスイッチ又はモニタースイッチより出火したものと推定されるが、焼損が著しいため、事故原因の特定には至らなかった。

○2014年9月2日（宮城県、50歳代男性、使用期間約13年8ヶ月、製品破損）

事故内容:使用中の電子レンジ庫内から発火した。

事故原因:導波管カバーに食品カスや油等が付着したため、レンジ加熱中にマイクロ波が導波管カバーに集中し、スパークが生じたものと推定される。

なお、取扱説明書には、「庫内に油・食品カス・煮汁をつけたまま放置したり、加熱したりしない。発火・発煙などの原因になる。」旨、記載されている。

○2014年6月23日（福島県、年齢性別不明、使用期間約26年、拡大被害）

事故内容:電子レンジを使用中、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。

事故原因:調査の結果、当該製品内部のドアスイッチから出火したものと考えられるが、ドアスイッチの焼損が著しいことから、事故原因の特定には至らなかった。

3. 電子レンジの事故の実験映像について

電子レンジの事故の実験映像に関しまして、写真及びムービーをご希望の場合は、下記の問い合わせ先までご連絡ください。

なお、映像をご使用の際、クレジットは「製品評価技術基盤機構+NITE のロゴ」としてください。

以上

【編集人のつぶやき】

便利で使い慣れた家電の代表格である電子レンジ。
使う前に取扱説明書、見てますか～！
電子レンジって、温めるものを入れて→時間などをセットして→スタートボタンを押すだけ なんですが・・・実は注意点も多いんです。
電子レンジの事故のうち 20%は誤使用や不注意によるもの(´•_•;)。

- ・庫内をこまめに掃除する事
- ・加熱禁止の食品や、レンジに適していない容器の使用は避けるなどに注意して、安全に、便利に使いましょう。

徳利に入れた日本酒の燗はOKかな～？ いつもやってるけど！！

(本件に関する問い合わせ先)

〒983-0833 宮城県仙台市宮城野区東仙台 4-5-18

ナイト
独立行政法人製品評価技術基盤機構(略称:NITE)
東北支所 業務課

担当: 菊地(きくち)、齋藤(さいとう)、福井(ふくい)

電話: 022-256-6423

E-mail: jiko-tohoku@nite.go.jp

NITE
ホームページ



YouTube
公式チャンネル



Twitter
公式アカウント

